

講義科目 : 社会福祉援助技術論 I	単位数 : 4
担当 : 武田 誠一	学習形態 : 自由選択科目 社会福祉士必修科目
	実務経験 : 有 * 第1学年で履修

講義の内容・方法および到達目標

本講義では、ソーシャルワーク（相談援助）の基本理念、共通課題、ソーシャルワーク（相談援助）の体系や内容等を学ぶ。

相談援助の過程において必要となる知識や技術について理解することが目標である。

授業計画

1	オリエンテーション	16	ソーシャルワークにおける援助関係（電話相談）
2	私たちの暮らしとソーシャルワークの実際	17	ソーシャルワークにおける援助関係（来所相談）
3	ソーシャルワークの実践モデル(医学モデル)	18	ソーシャルワークにおける援助関係（アウトリーチ）
4	ソーシャルワークの実践モデル(生活モデル)	19	面接技法（技法の理解）
5	診断主義アプローチ	20	面接技法（技法の実際）
6	心理社会アプローチ	21	面接技法（技法の実際）
7	問題解決アプローチ	22	ソーシャルワークのさまざまな技法（理論）
8	行動変容アプローチ	23	ソーシャルワークのさまざまな技法（方法の実際）
9	課題中心アプローチ	24	ソーシャルワークのさまざまな技法（方法の実際）
10	危機介入アプローチ	25	記録の方法
11	エンパワメントアプローチ	26	スーパービジョンの理論と実践
12	その他のアプローチ	27	事例分析（事例の理解）
13	ソーシャルワークの援助過程（インテーク）	28	事例分析（カンファレンスの方法）
14	ソーシャルワークの援助過程（アセスメント）	29	事例分析（カンファレンスの実際）
15	ソーシャルワークの援助過程（インターベンションなど）	30	個別援助におけるソーシャルワークの価値と倫理

教材・テキスト・参考文献等 未定（後日、掲示します）

成績評価方法 1. 課題・提出物：50% 2. レポート：30% 3. ミニテスト：20%

実務経験

在宅介護支援センター、病院での実務経験に基づき、個別援助場面におけるソーシャルワークについて教授していきます。

その他

ソーシャルワーク(相談援助)の方法・技術を学ぶ科目です。

その技術は、さまざまな生活課題を抱える利用者のために用います。

そのため援助者は、利用者の生活課題とは何か？それはどのようにして引き起こされるのか？

その点を理解しなくてはなりません。

しかし、技法のみに目を奪われず、利用者の生活に視点を置き学んでください。